

北町高齢者センターボランティアスタッフの皆様との意見交換会（12月16日開催）

主なご意見

■ボランティアを始めたきっかけ

- ・ 倫子先生が山崎医院の患者の皆さんに趣意書をお渡ししてボランティアを募った
- ・ 小冊子で倫子先生の活動を知った
- ・ P T Aの仲間に誘われた
- ・ 山崎医院に勤務していた
- ・ ご近所の方に誘われた
- ・ ボランティア活動の一つとして
- ・ 友人に誘われて（リタイア後に開始）

■ボランティアの内容

手芸、音楽、美術（粘土、絵手紙）、調理、お庭の手入れ
30周年記念誌、メモリアルルーム

■今後について

○ボランティア

- ・ 活動を徐々に再開する中で方向性が出るのではないか
- ・ 1対1で利用者と接する（コミュニケーション）
- ・ ボランティア確保・育成の場
- ・ 活動ルームをボランティアの集まりの場、いろいろな方が出入りできる場
- ・ みずきっこのお母さんとボランティアの交流
- ・ ボランティア経験の継承

○プログラム

- ・ 高齢者と乳幼児親子（みずきっこ）との世代間交流（旧山崎邸1階）
- ・ お庭を活用したカフェ（1階食堂&お庭）
- ・ 土曜日のコミュニティ食堂・カフェ（1階食堂&お庭）
- ・ 囲碁、将棋、健康マージャンなどで男性利用者を増やす
- ・ 元気高齢者や独居高齢者も含めて誰もが気軽に立ち寄れる施設（お茶飲みサロン）
- ・ 中央幼稚園との交流
- ・ 個別機能訓練の拡充（2階フロア）

○施設・設備ほか

- ・ 2階の連絡通路（本館と旧山崎邸）
- ・ 名称を変える（高齢者を取る）
- ・ 外から中の様子が見える